

8 保健師のスキルアップ研修会

申請者氏名（代表者） 永吉ルリ子		所属部門	人間健康学部看護学科 地域看護学領域	
企画名 保健師スキルアップ研修会				
企画の目的・概要 保健師の置かれている現状を踏まえ、保健師の質向上をめざし、保健師活動の基盤であるコア（みる・つなぐ・うごかす）を発展させることの技術を習得する機会とする。 「地域における保健師の保健活動指針」（平成 25 年 4 月 19 日改訂）を踏まえて、地域での保健師活動を見直し、今後の保健活動に生かすことができる。 講師：中板育美氏（公益社団法人日本看護協会 常任理事） 基調講演テーマ：「地域における保健師の果たす役割と地域保健活動の在り方」 日時：平成 25 年 10 月 19 日（土） 午前 9 時半～11 時半 場所：名桜大学看護学科棟 第 1 講義室				
企画実施組織				
氏名	所属・職名	現在の専門	役割分担	備考
永吉ルリ子 比嘉憲枝 仲本優子 松田めぐみ	看護学科 教授 看護学科 講師 看護学科 助教 看護学科 助手	公衆衛生看護 公衆衛生看護 公衆衛生看護 公衆衛生看護	企画・運営 企画・運営 企画・運営 企画・運営	沖縄県が後援同意した。おかげで、沖縄県保健師研修会（8 月 30 日）に於いて、基調講演会のパンフレット及びポスター配布ができた。
企画実施報告 企画通りに実施することができた。全県下現役保健師 81 名（市町村 25 名、保健所 43 名、本庁・大学等 13 名）の参加であった。 アンケート結果から、日程・時間帯は約 9 割が適切であったと回答。場所については、6 割が適切と回答した。基調講演は、保健師が元気の出る内容であった。保健師活動の原点・基本の再確認ができた。また、保健師活動指針の本質を具体的に示され、今後の保健師活動の糧になる。中板氏の話を再度聞きたい等の所感があった。今後開催してほしい内容は「公衆衛生看護の現状と課題」等であった。 意見交換会では「本音で話し合いができ良かった」との感想あった。 *今回実施した基調講演は、名桜大学看護実践教育研究センター事業目的「看護系職員、保健医療関係職員の看護実践能力の向上」にマッチしたものであり、保健師の質向上に寄与したものとする。 さらに、名桜大学看護学科 P R の一助になったと捉える。				

企画の実施評価

「地域における保健師の保健活動指針」（厚生労働省健康局長通知）改訂された。時期早々に、検討委員であった中板氏の基調講演を拝聴できた。公衆衛生看護活動の基本・原点を振り返ることができ、今後の教育及び現場活動の糧になった。さらに、大学と活動現場が一体となり、保健師の質向上につなげることができたと考える。

今後の取組み

名桜大学が、現任保健師質向上の一部を担えるよう、次年度においても講演会を開催する。

基調講演参加者からの要望「公衆衛生看護の現状と課題」と保健師職能団体及び本庁保健師現任教
育担当者の意見を踏まえ、名桜大学としての役割を検討した上で、講演内容及び講演者を決定する。



写真：保健師スキルアップ研修会 基調講演会の様子